

旧出雲エネルギーセンター跡地の利活用に係る サウンディング型市場調査の実施結果等について

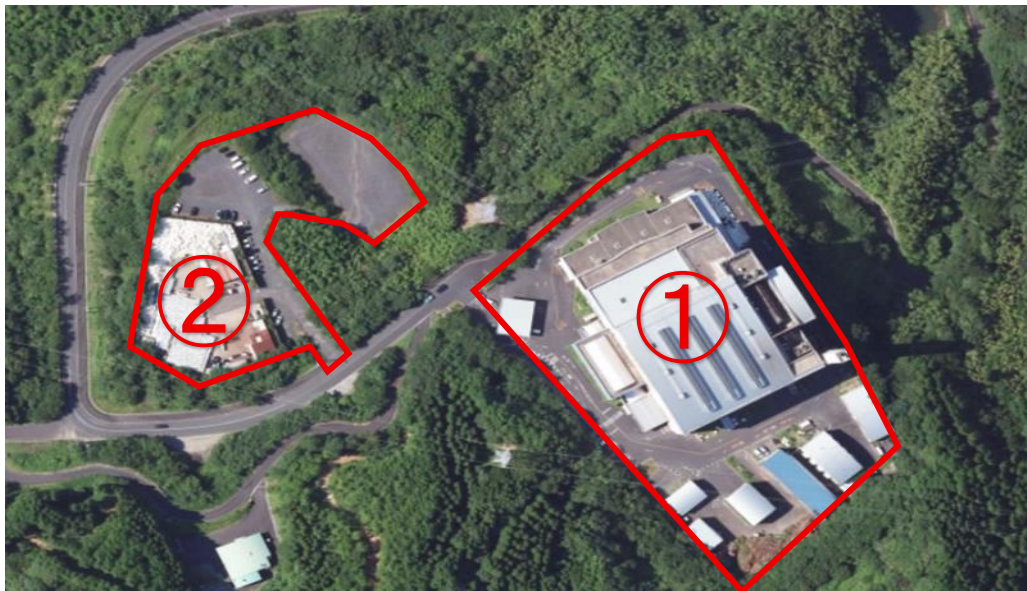
旧出雲エネルギーセンター跡地の利活用について、サウンディング型市場調査を実施しましたので、その概要を報告します。

1. 調査内容

対象土地の利活用方法や事業手法について、地域の活性化、雇用創出、周辺環境との調和等につながる意見・提案を幅広く募集し、市場性を調査した。

2. 対象土地の概要

所在地	出雲市芦渡町 2383 番地 1 ほか	
面 積	約 24,100 m ² (①17,300 m ² ②6,800 m ²) ※地籍調査等の結果により変わる場合があります。	
地目（現況）	宅地ほか（更地）	
都市計画制限等	区域区分	非線引き
	用途地域	無指定
	建蔽率	70%
	容積率	200%
	防火指定	なし
地下埋設物等	・ 旧出雲エネルギーセンターの基礎（既成杭）（414 本） ・ 防火水槽（L3.9m×W5.3m×H3.55m RC 造）	



3. 実施期間

令和7年9月10日 ～ 10月24日 サウンディング参加事業者の申込受付
～ 11月 7日 サウンディング参加事業者との対話

4. 提案者数

2 事業者

5. 対話の実施状況及び提案概要

提案者	提案概要
事業者 A 現地見学：10/27 対話：10/27	<ul style="list-style-type: none">・ <u>系統用蓄電池事業用地としての活用</u>を考えている。※系統用蓄電池事業…電力系統（送配電網）に接続した大規模な蓄電池設備を用いて電力の売買等によって収益を得る事業。・ 蓄電容量：180MWh・ 事業期間は 20 年で、2030 年の運用開始を見込んでいる。・ 当該事業に伴う新規雇用の計画はない。・ 設備設置に伴う工事や資材購入等は、地元企業の協力を得たい。・ 整備時には、周辺環境との調和を重視した設計を行う。・ 用地は、②のみ購入を希望する。・ 今後、地元貢献について検討する。
事業者 B 現地見学：10/ 7 対話：11/ 4	<ul style="list-style-type: none">・ <u>リサイクル事業用地としての活用</u>を考えている。・ 操業開始までは、2 年～3 年半必要。・ 当該事業に伴い、5 名程度の新規雇用を計画している。・ 施設整備にあたっては、地元企業の協力を得たい。・ 大型車両の通行は、15 台／日程度を見込んでいる。・ 非常時の車両避難場所や児童生徒の環境教育の場として地域貢献を考えている。・ 操業に関する地元の意見には真摯に対応する。・ 景観上の懸念に関しては、市関係部局や専門家の助言を得て、建設計画を策定する。・ 排水施設がないため、自社で設置する必要がある。・ 用地は、①、②、洪水調整池及び給水中継ポンプ部分の購入を希望する（②の購入は必須ではない。）。

6. 土地譲渡に向けた考え方及び今後のスケジュール（予定）

今回の調査で複数事業者からの提案があったことから、利活用について一定のニーズはあると考えられる。

このことから、サウンディング調査結果も踏まえ、今後、公募条件の整理等譲渡に向けた準備を進める。

令和 7 年度	地籍調査、公募に向けた準備
令和 8 年度	土地譲渡に向けた公募 審査・売却先決定 不動産の売払いに係る議案提出